

【かんがえる子】よく見聞きし、学び、創造する子

- ◇学習規律の確立と家庭学習の習慣化により、基礎・基本の定着を図る
 - 「きよかわ学びづくりハンドブック」に則した実践を行う
 - 読書指導や副教材等の活用などにより家庭学習の習慣化を図る
 - 日常的な読書指導を行うことにより、読書習慣を身につけさせる
- ◇体験的な学習を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する
 - 人やものとかかわり、児童の五感を活用する学習を多く取り入れる
 - 3観点による評価を適切に行う
 - 見通しをもたせる工夫、人や資料と対話する工夫、活用を意識した思考ツールの工夫の視点から授業改善を行う
- ◇ICT 機器の活用等とおして、一人一人の学力の向上を図る
 - 協働学習を取り入れ、主に思考力及び判断力の向上を図る
 - 学校内外へ情報を発信することにより、表現力の向上を図る
 - 児童自身の判断により、適切に ICT 機器を活用する力を身につけさせる



めざす児童像の



具現化に向けて

【やさしい子】友だちと共に思いやる行動ができる子

- ◇教育活動全体をとおして道徳教育の充実を図る
 - 本校の教育活動全体において適切な時期をとらえて道徳教育を適切に行う
 - 全体計画に基づき、道徳教育の要となる「特別な教科道徳」を適切に指導する
 - 自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う
- ◇教育活動全体をとおして、人権を尊重する心を養い、自己肯定感を高める
 - 人権感覚を常に鋭敏に保つために教職員への研修を充実させる
 - 人権を尊重し、いじめ等の人権侵害にあたる行為を絶対に許さない風土を醸成する
 - 各教科・領域の指導において、多様性を受け入れられる心情を培う
- ◇インクルーシブ教育の充実を図る
 - 教育相談コーディネーターを中心としてインクルーシブ教育を推進する空間的・心情的環境を整える
 - 個別・集団を支援する教育のそれぞれの強みを生かした指導を行う
 - インクルーシブ教育の理念の理解を深め、「共に学び、共に育つ」心情を培う



【がんばる子】よく気づき最後までやり遂げる子

- ◇特別活動(学級活動)や縦割り班活動をとおして、自己有用感の充実を図る
 - 同年齢集団の活動により、仲間意識の醸成を図る
 - 異年齢集団の活動により、協力性を養う
 - 村内外の学校等とのかかわりを広げ、集団行動の必要性と大切さを味わわせる
- ◇特別活動(児童会活動・学校行事)をとおしてやり遂げる態度を育成する
 - 児童集会等をとおして高学年に対する憧れや高学年としての自覚を醸成する
 - 学校行事をとおしてやり遂げた充実感や達成感を味わわせる
 - 諸活動において、計画的、かつ、持続的に取り組む態度を培う
- ◇地域行事に積極的に参加することにより、地域の一員としての所属感を涵養する
 - 地域住民とのふれあいをとおして安心感を涵養する
 - 地域行事への参加を促し、地域との一体感を涵養する
 - 地域とのかかわりをとおして、地域の一員としての自覚を持たせる



【げんきな子】心身ともに健康で笑顔あふれる子

- ◇基本的生活習慣の確立を図る
 - 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底を図る
 - 元気にあいさつを交わすことの必要性和大切さを理解させ、その定着を図る
 - タブレット端末等の日常の利用について、その危険性や弊害等を理解し、自らの意思で適切に扱う実践力を身につけさせる
- ◇運動習慣の定着を図り、体力・運動能力の向上を図る
 - 外遊びを推奨し、校庭・遊具等の環境を整え、日常的な運動習慣の定着を図る
 - 体育の学習を中心として、様々な運動に親しませ、その能力の向上を図る
 - 年間を通した、新体力テスト・運動会「みどりピック」・体力づくりウィークの流れを生かして体力の向上を図る
- ◇安全に生活する態度を養う
 - PTA、学校運営協議会と連携して登下校等の交通安全について、実践力を育む
 - 避難訓練等をとおして命を守る行動がとれるよう防災意識の向上を図る
 - 学校生活において危険回避の状況判断が適切におこなえる能力を育成する

